

校報 まつかけ

第 10 号
令和 6 年 1 2 月 2 3 日
八幡浜市立松蔭小学校
<https://matsukage-e.esnet.ed.jp>

あかるく・やさしく・たくましく
○ ㊦んかいの笑顔で
○ ㊧ながる仲間と
○ ㊨んがえよう一生懸命
○ ㊩んきに活動しよう

【1 月 行 事 予 定】

「地球の上に生きる」から

校長 川田 久

人生を振り返って、「あれをやった」と感慨にふけるのもいいが、「あれをやらなかった」と誇りにするのもありだと思う。(頭木 弘樹)

私たちはつい「何をしたか」で人を評価するが、「何をしなかったか」もじつに大切だと、文学紹介者は言う。例えば「傷つけなかった、人の上に立とうとしなかった、差別しなかった、欲に溺れなかった」というふうに。これだけは絶対にすまいと、人としての矜持を守り通すだけでも凄いことだ。

【朝日新聞「折々のうた」から】

今年も愛媛県では、11月11日から12月10日までの1か月を、「差別をなくす強調月間」と定め、様々な啓発活動を行ってきました。八代ブロックでも先日、田中良彦さんの心温まる人権コンサートが行われ、5・6年生が参加しました。本校は一足早く10月末に人権参観日と講演会を行いました。講演会では中矢匡さんをお招きして、「地球の上に生きる」と題した講演をしていただきました。全校児童に聴かせたため、低学年には少々難しい内容でしたが、最後まで頑張って聴くことができていたと思います。

中矢さんは中学校教員を退職後、80以上の国々を旅し、そこでの様々な体験や出会いについてお話をしていただきました。ウクライナの子供たちに、日本の子供たちから寄付してもらったおもちゃを贈る活動もされているそうです。講演の中で特に心に残ったエピソードは、日本から南米パラグアイに渡った移民1世の老人の話でした。その方たちは、入植当時、与えられた原生林を斧で開拓するという過酷な生活を強いられ、食料不足や風土病などで多くの仲間を失ったそうです。さらには賊に襲われる、奪われるという死と隣り合わせのぎりぎりの生活だったといいます。しかし、どんなに苦しくても、どんなに貧しくても「絶対に嘘はつかなかった。」「絶対に盗みはしなかった。」なぜなら「わしらは日本人だから。」と言われたそうです。遙か彼方の異国で、死ぬか生きるかの生活をしながらも、祖国を思い、祖国に恥じるようなことだけはすまいと、必死に踏ん張ってこられた方たちの生き様を想像すると、胸が熱くなりました。

いつの間にか詐欺や強盗で、高齢者から金品を奪い取るような犯罪が横行するようになってしまった祖国を、この方たちは地球の裏側からどんな思いで見ているのでしょうか？個人個人の生き方は様々ですが、何をすべきか、何をしないか、そんなしっかりとした判断基準を備えて行動できる子供たちを育てていかなければならないと感じます。

日	曜	給食	校 内 行 事 等
1	水	＼	元日 年始休業日
2	木	＼	年始休業日
3	金	＼	年始休業日 二十歳の集い
4	土	＼	
5	日	＼	
6	月	＼	
7	火	＼	七草がゆの会
8	水	×	始業式・分区会
9	木	○	給食開始 委員会活動
10	金	○	登校指導 身体計測・視力検査 ノーゲームノーネットday
11	土	＼	えひめこども美術展表彰式
12	日	＼	市公民館研究大会 あいさつ強調・赤十字週間
13	月	＼	成人の日
14	火	○	あいうえお話会
15	水	○	A L T 訪問 代表委員会
16	木	○	松蔭っ子を育てる会
17	金	○	
18	土	＼	
19	日	＼	家庭学習強調週間
20	月	○	登校指導 ノーゲームノーネットday
21	火	○	
22	水	○	
23	木	○	
24	金	○	
25	土	＼	
26	日	＼	
27	月	○	体育館夜間使用中止
28	火	○	クラブ活動
29	水	○	
30	木	○	ノーゲームノーネットday
31	金	○	漢字検定

< 2月の主な行事予定 >

- 2/1(土) 学習発表会
- 2/12(水) 八幡浜中学校新入生入学説明会
- 2/17(月) 学校関係者評価委員会
- 2/27(木) 参観日・学年PTA

(キリトリセン)

※ 学校のこと(行事のこと、校報のことなど)や児童のことなど、何でもかまいません。ご意見をお寄せください。